

広報

Ako City
Public
Relations

あこ

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」
の実現に向けて



スポーツの秋

原幼稚園・原小学校合同運動会（9/30 原小学校）

原小学校で行われた幼稚園と小学校の合同運動会は中学生のお兄さんお姉さんもボランティアでお手伝いするなど地域を挙げての一大イベント。地域の皆さんみんなで子どもの笑顔を見守っていました。

'17
財政特集号
平成28年度
決算

平成29年11月10日発行

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて

平成28年度の市の財政状況は、歳入において、投資的経費に伴う国庫支出金や市債が大幅に減少したほか、地方消費税交付金や市有土地売却等の財産収入の減に加え、地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的な地方交付税総額の減少

を著実に推進し、厳しい財政環境のなか、人口減少社会における地方創生の動きに的確に対応するため、後年度への財政負担等を勘案し、施策・事業の優先順位の厳しい選択と集中及びその検証を行い、財源の充実確保と行財政の健全運営に配慮しながら、市民福祉の増進に努め、誰もが希望と誇りをもって住み続けたいと思えるまちづくりを推進しました。

- 【安心】 安全・安心に生活できるまち
- 【快適】 自然と共生する住みよいまち
- 【にぎわい】 産業と交流が盛んな活力のあるまち
- 【学び】 生涯にわたり夢を育むまち
- 【連携】 市民と行政がともに歩むまち

平成28年度は、「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」の実現を目指し、市政の5本柱である

により一般財源総額が落ち込む中、財政調整基金を取り崩すことにより財源の確保を図りました。一方歳出は、赤穂市総合戦略に基づく事業展開により地方創生を推進したほか、私立施設等教育・保育給付費や生活保護費等の社会保障関係費が増加する一方で、投資的経費は大幅に減少しました。

また、財政構造の健全化を図るため、事務経費の一層の節減を行うなど、簡素でより効率的な財政運営に努めるとともに、「第7次赤穂市行政改革大綱」に基づき、中長期的な視点に立った取り組みを行いました。



子どもたちが笑顔でスポーツに打ち込む姿を集めました。幼稚園、小学校の運動会に柔道、野球、サッカー大会の選手宣誓の場面です。みんないきいきと輝いています。

広報あこう '17財政特集号 平成28年度決算 目次

- 3 「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて
- 4 各会計別決算状況
- 5 一般会計決算
- 7 財政分析
- 8 市債・基金・債務負担行為の状況
- 9 赤穂市の家計簿
- 10 病院事業の決算
- 12 水道事業の決算
- 14 介護老人保健施設事業の決算
- 15 平成29年度予算上半期の状況
- 16 写真で見る決算

1 一般会計決算



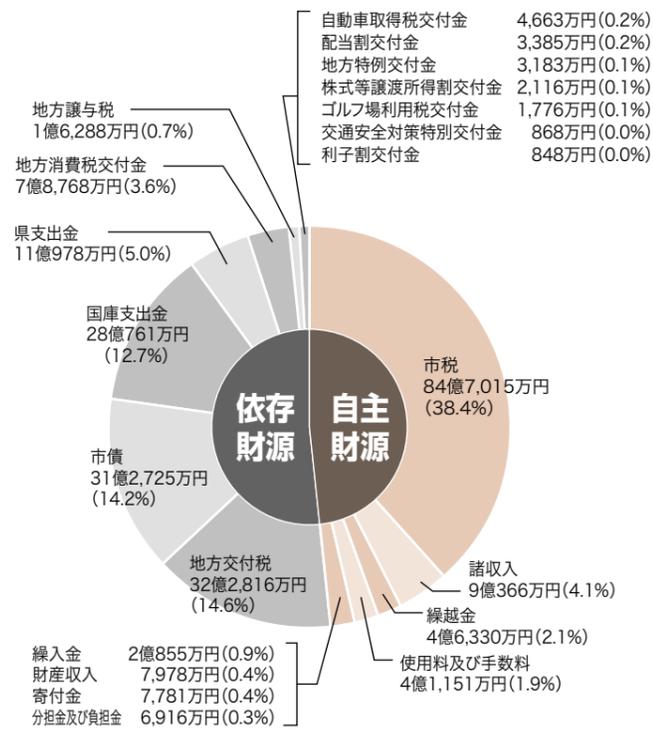
市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が220億7,567万円、歳出が219億828万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は1億1,606万円となりました。

歳入決算は、前年度と比べ8.9%の減少となりました。主な特徴として、国庫支出金が16.1%の減、市有土地売却収入を含む財産収入が77.5%の減に加え、消防施設整備事業債等の減により市債が32.8%の減となっています。

市税など市が自身で収入することができる財源(自主財源)の歳入全体に占める割合は、前年度比4.6ポイント増加して48.5%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。

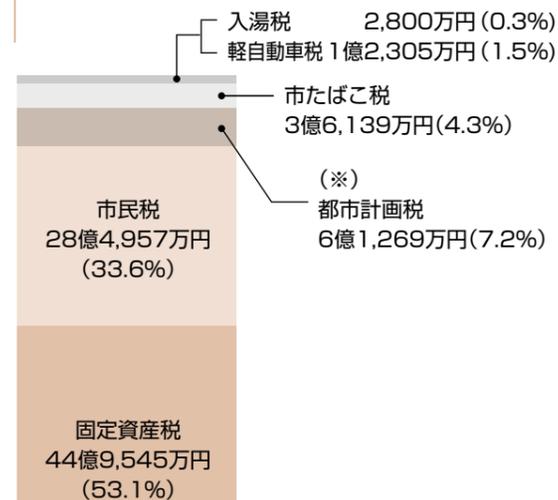
歳入総額
220億7,567万円

自主財源 **106億8,392万円** (48.5%)
依存財源 **113億9,175万円** (51.5%)



市税の内訳

総額 **84億7,015万円**



(※) 土地区画整理事業、公園施設整備事業などの市街化区域内の事業の財源となっています。



各会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

会計区分	歳入			歳出			
	28年度	27年度	伸び率%	28年度	27年度	伸び率%	
一般会計	220億7,567万円	242億2,285万円	△ 8.9	219億828万円	237億5,955万円	△ 7.8	
特別会計	国民健康保険事業	64億2,176万円	65億7,973万円	△ 2.4	63億4,695万円	65億7,303万円	△ 3.4
	職員退職手当管理	6億3,675万円	6億8,297万円	△ 6.8	6億3,675万円	6億8,297万円	△ 6.8
	公共下水道事業	34億1,189万円	42億4,250万円	△ 19.6	34億1,189万円	42億4,250万円	△ 19.6
	農業集落排水事業	2億9,186万円	3億462万円	△ 4.2	2億9,186万円	3億462万円	△ 4.2
	墓地公園整備事業	541万円	610万円	△ 11.3	541万円	610万円	△ 11.3
	介護保険	40億9,920万円	39億9,746万円	2.5	39億7,798万円	39億6,885万円	0.2
	駐車場事業	1億2,217万円	1億2,675万円	△ 3.6	1億2,217万円	1億2,675万円	△ 3.6
	後期高齢者医療保険	6億9,071万円	6億4,845万円	6.5	6億7,513万円	6億3,386万円	6.5
	小計	156億7,975万円	165億8,858万円	△ 5.5	154億6,814万円	165億3,868万円	△ 6.5
	企業会計	病院事業	105億3,947万円	99億6,243万円	5.8	122億4,478万円	107億806万円
介護老人保健施設事業		3億2,214万円	4億3,424万円	△ 25.8	3億6,564万円	4億6,067万円	△ 20.6
水道事業		14億8,079万円	15億6,687万円	△ 5.5	18億8,081万円	19億3,555万円	△ 2.8
小計	123億4,240万円	119億6,354万円	3.2	144億9,123万円	131億428万円	10.6	
合計	500億9,782万円	527億7,497万円	△ 5.1	518億6,765万円	534億251万円	△ 2.9	

(注：企業会計には消費税額を含む)

平成28年度市民1人当たりの決算額 **1,063,124円**

※平成29年3月31日現在の住民基本台帳人口48,788人で計算したものです。

一般会計 **449,051円** 特別会計・企業会計 **614,073円**



2 財政分析

市の財政の状態を分析するうえで用いられる指数及び比率には、次のようなものがあります。

①財政力指数(3カ年平均)

地方公共団体の財政力を示す指数として用いられ、1を超えるほど財源に余裕があるとされています。

	28年度(H26~H28)	27年度(H25~H27)
赤穂市	0.725	0.723
県平均	0.741	0.736
県内市平均(神戸市除く)	0.738	0.734

②経常収支比率(普通会計ベース)

人件費や公債費など、経常的に支出しなければならない経費に充てられた一般財源の経常一般財源(毎年経常的に収入され、用途を特定されないお金)総額に対する割合を、経常収支比率といいます。

この比率が高いほど自由に使えるお金の割合が少なく、道路や公園の整備をはじめ、市民の新しいニーズにこたえていく余力がなくなっていることを意味します。

	28年度	27年度
赤穂市	90.2	90.0
県平均	94.0	91.7
県内市平均(神戸市除く)	92.8	90.4

③市債・基金1人あたり現在高(普通会計ベース)

家庭では、家を建てるときや車を買うときに借り入れる「ローン」にあたる「市債現在高」と「貯金」にあたる「基金現在高」を人口一人あたりに直すと以下のとおりです。

	市債現在高(借金)	基金現在高(貯金)
赤穂市	619,333円	89,674円
県内市平均	508,309円	78,144円

※県内市平均は、平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口で計算しています。



財政健全化判断比率

1 実質赤字比率

標準財政規模(市税などの一般財源の標準規模)等に対する、実質赤字額の比率です。

2 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての赤字の程度を示します。

3 実質公債費比率(3カ年平均)

標準財政規模等に対する、市が借り入れた借金(市債)の返済費用である公債費や、病院事業・下水道事業などの公営企業会計に対して公債費の補てんのために支出した額(繰出金)の合計額の割合を表す指標で、市の実質的な借入金の負担比率を示します。18%を超えると市債の発行にあたり県の許可が必要になりますが、平成28年度決算においては9.4%となり、前年度比で0.3ポイント減少しています。

4 将来負担比率

病院事業・水道事業を含め、市として将来負担すべき実質的な負債の総額の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

一般会計等の借入金(地方債)や将来払っていく可能性のある負担等の、現時点での残高を指標化しており、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示すもので、比率が低いほど財政状態が良いことを表します。

区分	1 実質赤字比率	2 連結実質赤字比率	3 実質公債費比率	4 将来負担比率
赤穂市	—	—	9.4	129.9
県平均	—	—	7.9	57.2
県内市平均(神戸市除く)	—	—	8.0	49.1
早期健全化基準	13.02	18.02	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載しています。

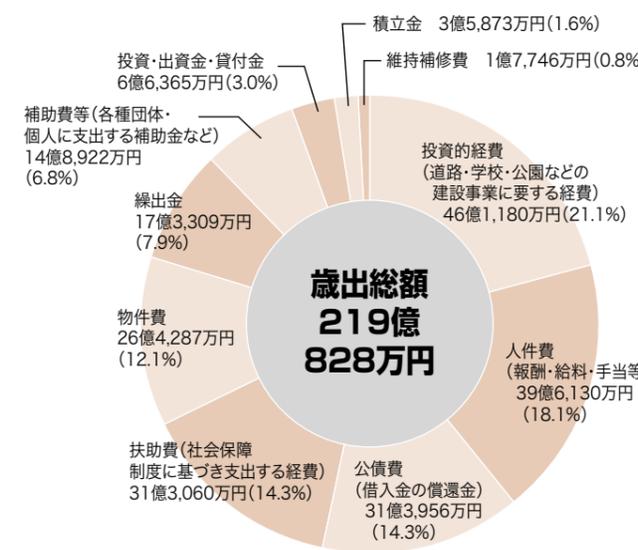


歳出

歳出決算は、前年度より7.8%の減少となりました。
 主な特徴として、通信指令設備整備事業や防災行政無線整備事業の減により消防費が31.7%の減、坂越駅周辺地区都市再生整備事業の減により土木費が22.2%の減となっています。
 道路や公園等の建設事業に要する投資的経費は、32.5%の減となりました。人件費、公債費、扶助費といった義務的に支出しなければならない経費の歳出総額に占める割合は46.7%となっています。

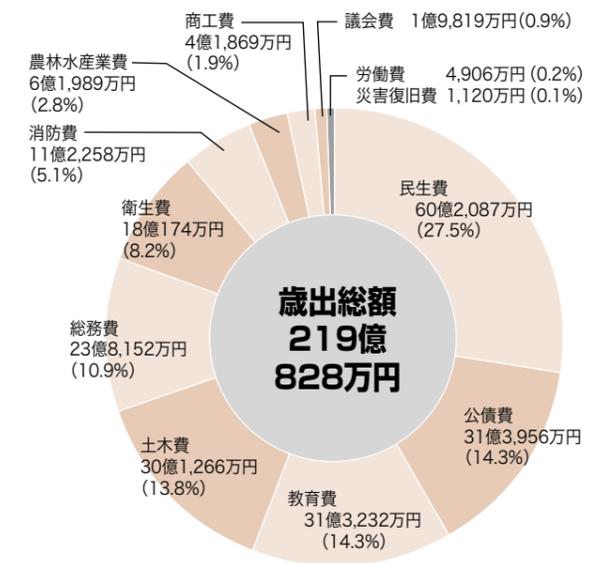
性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



目的別内訳

各行政目的別、つまり各部局ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。



市民1人あたりの決算額(目的別)



赤穂市の家計簿 ～一般会計決算を家計に例えると～

市の決算額は220億円を超える大きな額のため、このままでは実感がわきにくいものです。そこで、市の財政状況を年収500万円の家計に置き換えて表してみました。

【収 入】

赤穂市の一般会計決算 (平成28年度決算)		赤穂市の家計簿		
		収 入 項 目	年間収入	1ヵ月の収入
自主財源	市税・使用料手数料など	104億7,537万円	給料・ボーナス	500万円
	繰入金	2億 855万円	貯金の取崩し	10万円
依存財源	国県支出金、地方交付税など	82億6,450万円	親からの援助、子ども手当など	395万円
	市債	31億2,725万円	借金	149万円
収入合計		220億7,567万円	収入合計	1,054万円

【支 出】

赤穂市の一般会計決算 (平成28年度決算)		赤穂市の家計簿		
		支 出 項 目	年間支出	1ヵ月の支出
人	件 費	39億6,130万円	生活費(食費)	189万円
扶	助 費	31億3,060万円	医療費、保育料など	149万円
公	債 費	31億3,956万円	ローンの返済	150万円
物件費、補助費等、投資及び出資金、貸付金など		49億7,320万円	光熱水費、電話代、消耗品、寄付金、冠婚葬祭費、交際費など	238万円
繰	出 金	17億3,309万円	子どもへの仕送り	83万円
積	立 金	3億5,873万円	貯 金	17万円
投資的経費		46億1,180万円	自宅のリフォーム、自家用車購入など	220万円
支出合計		219億 828万円	支出合計	1,046万円



3 市 債

住みよいまちづくりを進めるために、道路や公園、下水道などの生活環境施設や、学校などの教育施設の整備を積極的に行っていますが、単年度の市税等だけでは、これらの財源をまかないきれません。

また、これらの事業効果は後年度に及ぶものであり、後年度の世代との負担を均等にすることからも、必要な財源の一部を市債として借入れ、後年度に市税等で償還(返済)しています。

■市債の状況

区 分	27年度末 現 在 高	28年度中増減		28年度末 現 在 高
		市債借入額	元金償還額	
一 般 会 計	300億 6,519万円	31億 2,725万円	29億 1,868万円	302億 7,376万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	157億 3,114万円	12億 8,880万円	18億 7,114万円	151億 4,880万円
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	18億 1,139万円	4,540万円	1億 9,463万円	16億 6,216万円
駐 車 場 事 業 特 別 会 計	5億 5,697万円		1億 1,288万円	4億 4,409万円
合 計	481億 6,469万円	44億 6,145万円	50億 9,733万円	475億 2,881万円

4 基 金

事業の推進、財源調達のために必要な資金を積立てて運用する基金等の状況は、次表のとおりです。

■基金内訳(一般会計+特別会計)

基金名		現 在 高
1	財 政 調 整 基 金	23億 3,361万円
2	市 債 管 理 基 金	3億 4,984万円
3	そ の 他 特 定 目 的 基 金	25億 763万円
主なもの	(健康管理施設整備基金)	5億 1,828万円
	(都市施設等整備事業基金)	3億 3,708万円
	(赤穂ふるさとづくり基金)	7,902万円
合 計		51億 9,108万円

内 現 金	51億 8,772万円
有価証券	336万円

5 債務負担行為の状況

債務負担行為とは、後年度において支出の義務を負う行為、例えば数年度にわたる工事を一括して契約することです。平成28年度末の状況は、次表のとおりです。

■債務負担行為の状況

事 業 名	債務負担行為 限度額	期 間	28年度以降 支出予定額
土地改良事業補助(団体営)	70万円	平26～平30	34万円
土地改良施設維持管理適正化事業	253万円	平28～平32	253万円
市民総合体育館及び城南緑地運動施設等指定管理料	2億 4,720万円	平29～平33	2億 4,720万円
市民総合体育館耐震対策補強事業	1億 7,000万円	平29～平30	1億 7,000万円

「企業会計手法による財政状況の分析」に係る財務書類につきましては、総務省より新たに示された「統一的な基準」に基づいて現在作成中ですので、掲載しておりません。

★市債残高 302億7,376万円 ローン残高 1,445万円(前年度1,423万円)

病院事業の決算

問い合わせ先
市民病院財務課 ☎43・6421

患者利用の状況

1. 診療科別一日平均患者数

【病院】 (単位：人)

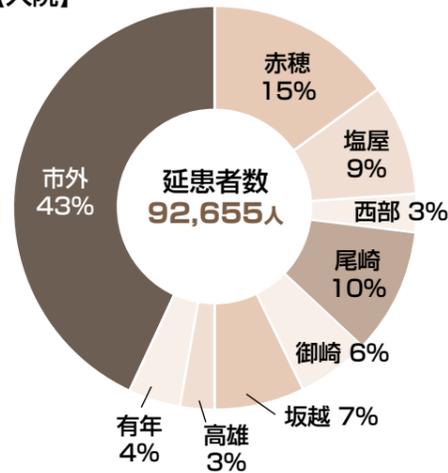
区分	内科	呼吸器科	消化器内科	循環器科	小児科	外科	産婦人科
入院	37.1	0.0	44.7	49.2	3.5	30.6	13.4
外来	136.0	16.6	105.1	84.9	31.5	53.3	36.1
区分	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	整形外科	泌尿器科	放射線科	脳神経外科
入院	0.2	2.7	0.7	41.8	10.3	0.0	16.8
外来	20.6	31.8	34.3	75.5	41.0	18.1	22.6
区分	麻酔科	形成外科	心療内科	精神科	歯科口腔外科	計	
入院	0.1	1.3	0.0	0.0	1.4	253.8	
外来	9.2	12.8	9.8	0.0	27.9	767.1	

【診療所】 (単位：人)

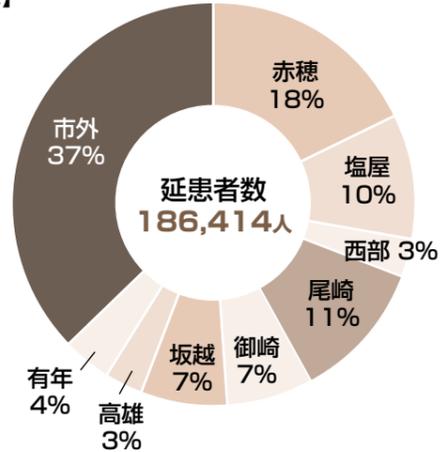
区分	高雄	福浦	有年	合計
外来	6.5	9.0	12.6	28.1

2. 地区別患者比率

【入院】

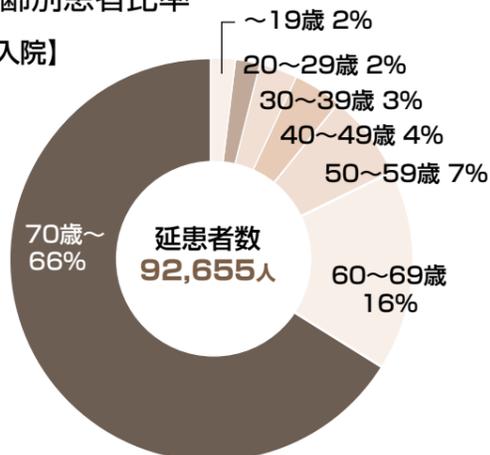


【外来】

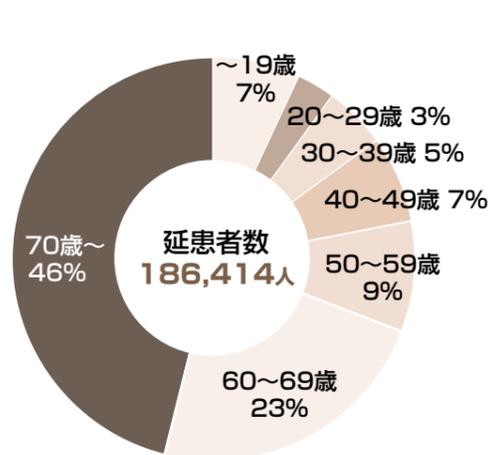


3. 年齢別患者比率

【入院】



【外来】



業務の状況

平成28年度の延利用患者数は入院92,655人、外来186,414人でした。
一日平均患者数は入院254人、外来767人で、医師、看護師など総勢443人の職員で医療活動を行いました。

平成27年7月に取得した「7対1看護体制」の継続を図るため、看護学生等への修学資金貸付を継続的に行い、看護師等の安定的確保に努めたほか、職員の働き方改革による職場環境の改善に努め、引き続き医師、看護師等の確保による診療体制の充実に努めてきました。

また、「第二期基本構想」については、透析病床の増床、健診センターの新設及び最新医療機器の整備を行う新館の建設工事を推進し、医療レベルの向上に取り組んできました。

さらに、平成28年12月には、急性期治療後の回復に不安のある患者を受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるまでの橋渡しをするために地域包括ケア病床59床を開設しました。

医療機器においては、注射薬自動払出システムの導入や超音波画像診断装置などの整備を行いました。

経理の状況

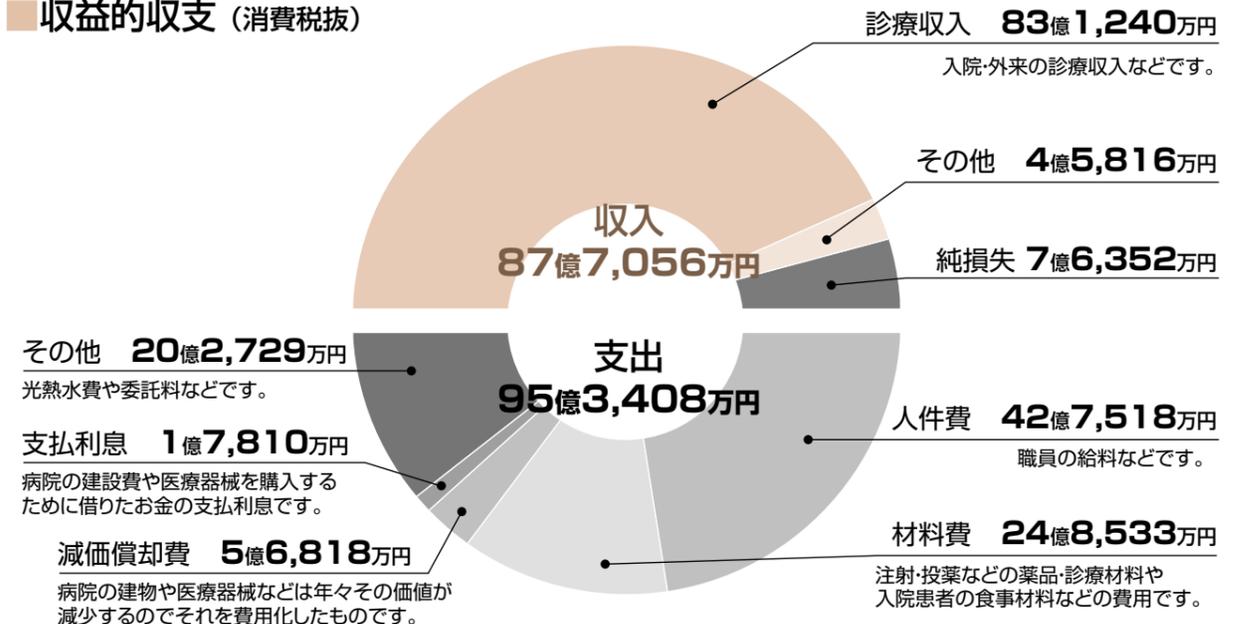
経営状況を表す収益的収支については、総収益8,770,557,060円、総費用9,534,080,403円となり、763,523,343円の赤字となりました。

資本的収支は、企業債などの収入1,743,475,732円に対し、医療機器整備や新館建設などの支出2,760,947,699円となり、その差額1,017,471,967円については、344,071,967円を内部留保資金で補てんし、残額の673,400,000円については、平成28年度同意済企業債の未発行分をもって翌年度に措置することとしました。

今後の病院運営

今後の病院運営については、平成29年3月に新たに改革の視点として加えられた「地域医療構想を踏まえた役割の明文化」等について見直し策定した「第2次赤穂市民病院改革プラン改訂版」に基づき、医師・看護師等医療従事者の確保に継続的に取り組み、早期の診療体制の回復に努めるとともに、患者ニーズに合った診療体制の整備のほか、診療報酬改定等の動向を踏まえての経営の健全・安定化に取り組んでまいります。

収益的収支（消費税抜）



水道事業の決算



問い合わせ先
上下水道部総務課 ☎43・6888

また、施設の建設改良などを表す資本的収支は、企業債などの収入427,874,791円に対し、改良工事などの支出が970,492,176円となり、その不足額542,617,385円は、建設改良積立金を取り崩すなど内部留保資金で補てんしました。

今後の水道事業経営

水道事業の経営については、人口の減少や節水機器の普及などにより水需要が減少傾向にある一方で、老朽化した水道施設や水道管の更新や耐震化は喫緊の課題であり、経営状況の変動も見込まれますが、安全でおいしい水を安定的に供給するために、健全な経営環境の維持に努めます。

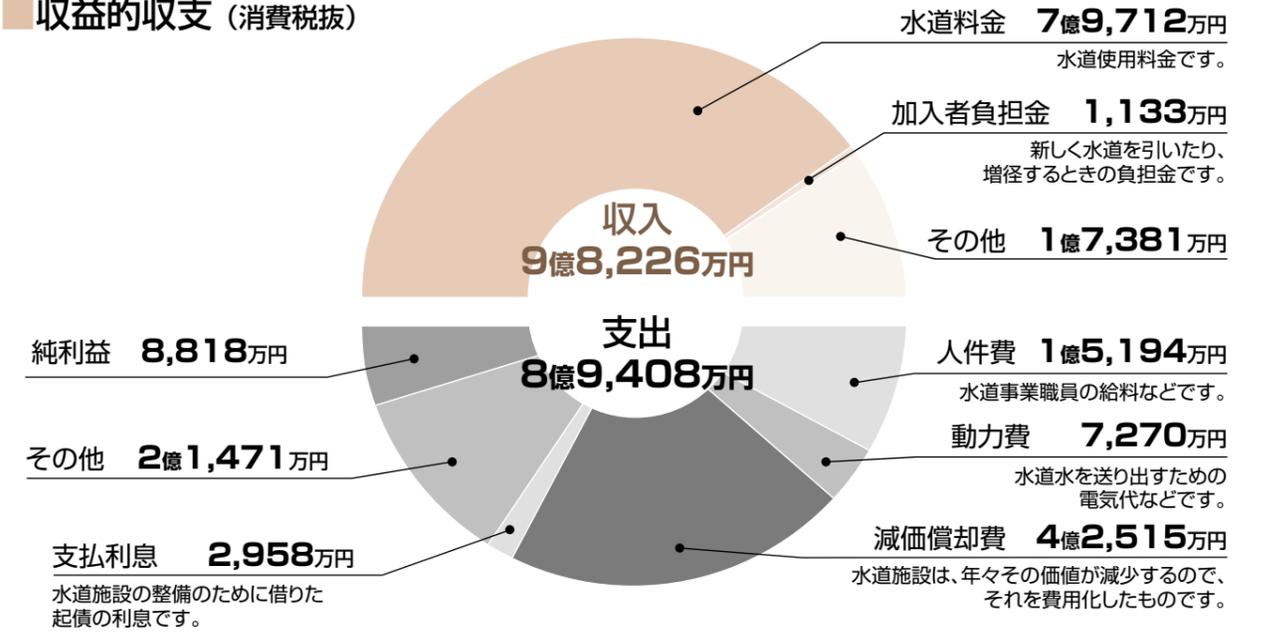
業務の状況

平成28年度の給水状況は、給水人口が48,788人（普及率100%）、給水件数が22,496件で、総給水量は12,276千 m^3 となりました。総配水量に占める有収率は96.2%で、給水原価は71.6円/ m^3 、供給単価は64.9円/ m^3 となりました。また、北野中浄水場において耐震補強工事や非常用自家発電設備を設置するなど水道施設の整備を行うとともに、老朽化した水道管の改良工事などを行いました。

経理の状況

経営の状況を表す収益的収支は、総収益が982,259,451円、総費用が894,078,376円で、88,181,075円の純利益となりました。

収益的収支（消費税抜）



漏水にご注意を

水道の使用水量が前回と比べて急に多くなった場合は、漏水をしていることが考えられます。家屋内の蛇口等を全部閉めてもメーターのパイロットが回っているようでしたら、漏水の可能性がります。すみやかに赤穂市指定給水装置工事業者に依頼して修理してください。

水道メーターの検針にご協力を

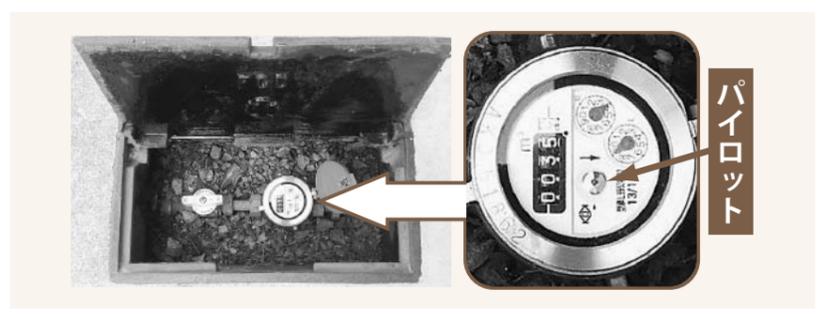
赤穂市では2ヵ月ごとに水道メーターの検針をしています。次のことについて、皆さまのご協力をお願いします。
●水道メーターボックスの上には、自動車や物を置かないでください。
●水道メーターボックスの中は、いつもきれいにしておいてください。
●犬は、出入口や水道メーターボックスから離してつないでください。

水道使用水量等のお知らせ

2ヵ月ごとに検針をして「水道使用水量等のお知らせ」を各戸に通知しています。
主な内容は、①今回の使用水量②今回請求予定金額と納付（振替）予定日③水道料金と下水道使用料（又は排水処理施設使用料）④前回分口座振替内容⑤通信欄と裏面でお願事項等をお知らせしています。

水道料金等の納付は便利な口座振替を

水道料金は下水道使用料（又は排水処理施設使用料）とともに2ヵ月ごとにいただいています。納入期日は検針の翌月25日でその日が金融機関の営業日でない日はその翌日）
納入期日を忘れたり、お支払いに向くなどの手間が省ける便利な口座振替を是非ご利用ください。



196項目の検査で安全な水を安定的に 平成28年度の水質水質

平成28年度の水質検査の結果は、次のとおりで、すべて水質基準値を満たしています。また、これら水質基準項目(51項目)に加え、目標設定項目26項目（農業120項目含む）の検査を随時行い、より安全で良質な水を安定的に供給しています。

給水栓水質測定結果（平成28年度平均値）

番号	検査項目	基準値等	北部水源系給水栓	南部水源系給水栓	備考
1	一般細菌	100個/mℓ以下	0	0	病原微生物
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/ℓ以下	<0.0003	<0.0003	
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/ℓ以下	<0.00005	<0.00005	
5	セレン及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	重金属
6	鉛及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
8	六価クロム化合物	0.05mg/ℓ以下	<0.005	<0.005	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/ℓ以下	<0.004	<0.004	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/ℓ以下	2.07	0.82	無機物
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/ℓ以下	0.11	0.11	
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	0.02	<0.01	
14	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下	<0.0002	<0.0002	
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下	<0.005	<0.005	
16	ジシロクロロメタン	0.04mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	有機物
17	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
20	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
21	塩素酸	0.6mg/ℓ以下	<0.06	<0.06	
22	クロロ酢酸	0.02mg/ℓ以下	<0.002	<0.002	
23	クロロホルム	0.06mg/ℓ以下	<0.001	0.001	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下	<0.003	<0.003	
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/ℓ以下	0.001	0.002	消毒副生成物
26	臭素酸	0.01mg/ℓ以下	<0.001	<0.001	
27	総トリハロメタン	0.1mg/ℓ以下	0.003	0.005	
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/ℓ以下	<0.003	<0.003	
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/ℓ以下	<0.001	0.002	
30	ブロモホルム	0.09mg/ℓ以下	0.001	<0.001	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/ℓ以下	<0.008	<0.008	
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	<0.01	<0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/ℓ以下	<0.01	0.01	着色
34	鉄及びその化合物	0.3mg/ℓ以下	<0.01	<0.01	
35	銅及びその化合物	1.0mg/ℓ以下	<0.01	<0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/ℓ以下	9.2	7.1	味
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/ℓ以下	<0.005	<0.005	着色
38	塩化物イオン	200mg/ℓ以下	11	6.1	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/ℓ以下	78.1	49.1	味
40	蒸発残留物	500mg/ℓ以下	124	78	
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/ℓ以下	<0.02	<0.02	発泡
42	ジェオスミン	0.00001mg/ℓ以下	<0.0000001	<0.0000001	
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/ℓ以下	<0.0000001	<0.0000001	カビ臭
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/ℓ以下	<0.005	<0.005	発泡
45	フェノール類	0.005mg/ℓ以下	<0.0005	<0.0005	臭気
46	有機物（全有機炭素）	3mg/ℓ以下	0.3	0.4	味
47	pH値	5.8～8.6	7.1	6.9	
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	基礎的性状
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	
50	色度	5度以下	<0.5	<0.5	
51	濁度	2度以下	<0.1	<0.1	

北部水源系給水栓：有年地区（採水場所：西有年、有年原地区）
南部水源系給水栓：有年地区以外（採水場所：周世、坂越、福浦、御崎地区）

平成29年度予算 上半期の状況

9月補正予算までに、一般会計において財政調整基金積立金として5,900万円などを計上し、介護保険特別会計において国庫負担金の精算に伴う4,521万円などを計上しました。

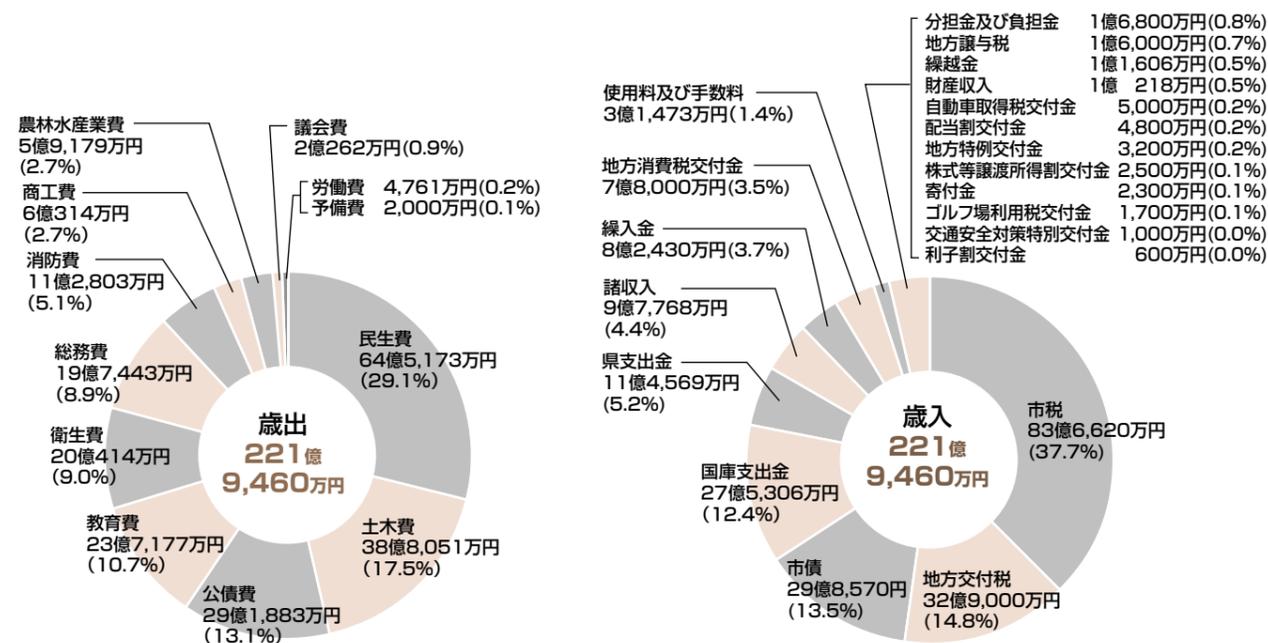
これにより特別会計、企業会計を合わせた9月補正後の平成29年度予算総額は、当初より1億8,279万円増加し、533億1,075万円となっています。



各会計別予算状況

会計区分	平成29年度 当初予算額	9月補正まで	平成29年度 現計予算額	
一般会計	220億 6,700万円	1億 2,760万円	221億 9,460万円	
特別会計	国民健康保険事業	64億 8,900万円	64億 8,900万円	
	職員退職手当管理	5億 140万円	5億 140万円	
	公共下水道事業	38億 1,870万円	38億 1,870万円	
	農業集落排水事業	2億 9,290万円	2億 9,290万円	
	墓地公園整備事業	1,080万円	1,080万円	
企業会計	介護保険	44億 7,260万円	5,519万円	45億 2,779万円
	駐車場事業	1億 3,840万円	1億 3,840万円	
	後期高齢者医療保険	7億 70万円	7億 70万円	
	小計	164億 2,450万円	5,519万円	164億 7,969万円
企業会計	病院事業	123億 3,732万円	123億 3,732万円	
	介護老人保健施設事業	3億 7,317万円	3億 7,317万円	
	水道事業	19億 2,597万円	19億 2,597万円	
	小計	146億 3,646万円	146億 3,646万円	
合計	531億 2,796万円	1億 8,279万円	533億 1,075万円	

一般会計予算の内訳 (9月補正後)



介護老人保健 施設事業の決算

業務の状況

平成28年度の入所利用者につきましては、長期利用者が328人、短期利用者が29人増加したため、前年度に比べて利用者数は357人増加しました。また、通所利用者につきましては、定員を35名(15名増)に変更したことにより、通所リハビリは824人増加し、結果として予防リハビリとあわせて、前年度に比べて利用者数は790人増加しました。平成28年度の入所利用者数は延15,851人(一日平均43.4人)、通所利用者数は延4,890人(一日平均20.2人)となりました。

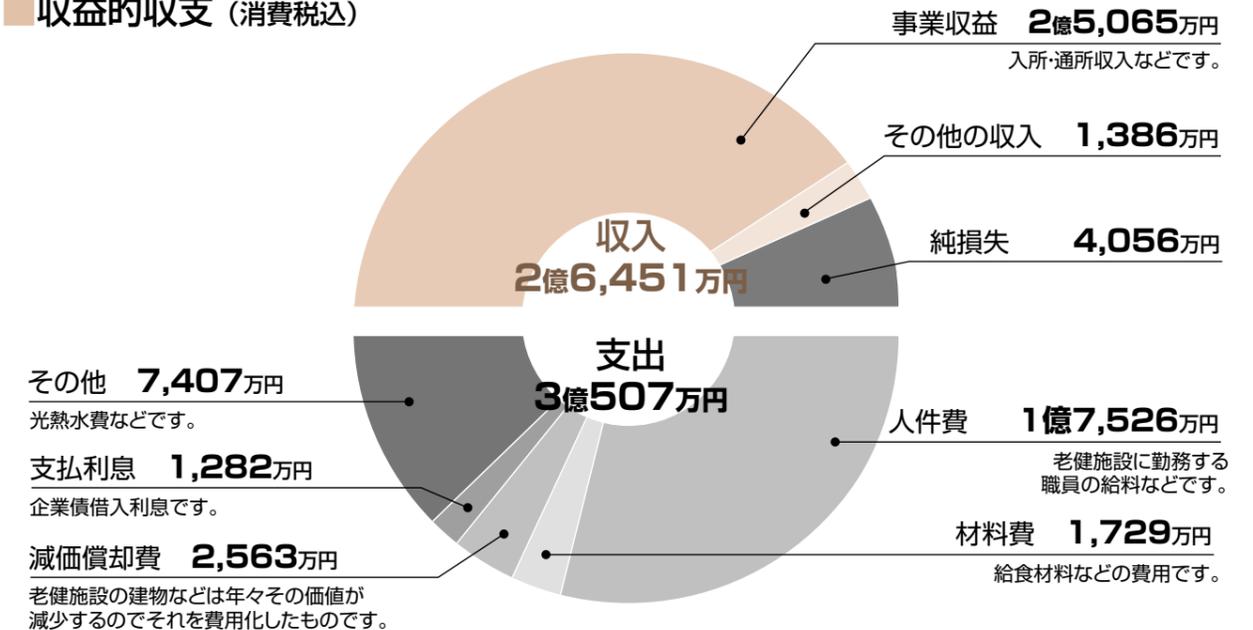
経理の状況

経営状況を表す収益的収支については、総収益264,511,391円、総費用305,075,785円となり、40,564,394円の純損失となりました。資本的収支は、収入総額57,623,970円、支出総額60,560,342円となり、差引不足額2,936,372円は内部留保資金で補てんしました。

今後の老健施設運営

介護老人保健施設の目的である「在宅復帰、在宅生活支援」の機能を果たすため、利用者一人ひとりの目標に沿ったサービスの提供と質の向上に努め、利用効率を高めるとともに、介護報酬改定等の動向を踏まえての経営の安定に取り組んでまいります。

収益的収支 (消費税込)



利用者の状況

区分	延利用者数		一日平均利用者数
	長期	短期	
入所	13,584	2,267	37.2
通所	4,890	-	20.2
計	15,851	-	43.4



写真で見る決算

赤穂素・流・人プロモーション推進事業



事業費 **6,649**万円

国庫支出金
6,649万円

映像を活用した地域PRや他市特産品とのコラボ商品の開発、観光ルートの整備など、赤穂独自資源である「塩」を活用した様々な事業を展開し、特色ある地方創生の推進を図っています。

幼稚園舎改築事業



事業費 **8億5,893**万円

一般財源ほか
1億7,273万円

市債
5億7,180万円

耐震補強が困難な赤穂・塩屋・尾崎幼稚園の改築工事を実施し、耐震化を図るとともに、3歳児保育に向けた施設整備を推進しました。

国庫支出金
1億1,440万円

乳幼児一時預かり事業



事業費 **378**万円

一般財源ほか
178万円

県支出金
100万円

国庫支出金
100万円

家庭での保育が一時的に困難となった乳幼児を預かる乳幼児一時預かりを赤穂すこやかセンターで実施し、子育て世代の育児に対する心理的・身体的負担の軽減を図っています。

中学生第3子手当支給事業



事業費 **250**万円

一般財源ほか
250万円

第3子以降の中学生の児童手当に月額5千円を上乗せして支給することにより、多子世帯の経済的負担の軽減を図っています。

定住支援推進事業



事業費 **4,923**万円

一般財源ほか
4,923万円

新婚世帯への家賃助成や転入世帯・若者世帯への住宅取得支援を継続するとともに、新たにお試し暮らし住宅事業や移住体験バスツアーを実施し、さらなる定住促進に取り組んでいます。

防災備蓄倉庫整備事業



事業費 **2,044**万円

一般財源ほか
990万円

市債
350万円

国庫支出金
704万円

災害時に避難所となる小・中学校などに新たに防災備蓄倉庫を整備し、防災施設の充実強化に努めています。

坂越駅周辺地区都市再生整備事業



事業費 **1億5,724**万円

一般財源ほか
1,464万円

市債
1億1,560万円

国庫支出金
2,700万円

JR坂越駅周辺の道路整備と合わせ、都市公園やすこやかセンター、観光関連施設の整備等を行い、駅周辺の賑わいの再生と持続可能な地域社会づくりを推進しています。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさどづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。